

23rd Lecture on Molecular Engine

第23回発動分子科学セミナー

9th WRHI Satellite Lab Seminar

第9回WRHIサテライトラボセミナー

“オリジナル化学プローブの創製による 生体分子イメージング”

東京大学大学院医学系研究科

神谷 真子 准教授



化学プローブとは、観測したい分子と結合または反応することでその特性が変化し、標的分子の活性や濃度などを可視化する化合物である。我々はこれまでに、独自の分子設計に基づき、がんで亢進している酵素活性を標的とした蛍光プローブ、自発的な明滅を繰り返す超解像蛍光イメージングプローブ、細胞内還元物質を検出可能な蛍光プローブなどを開発し、その有用性を示してきた。またごく最近、ラマン信号を制御する分子設計法を確立し、細胞内の複数の酵素活性を異なるラマンシフト値で同時検出可能なactivatableラマンプローブの開発に成功した。本講演では、我々が独自に設計・開発してきた化学プローブの設計と応用について紹介する。

日時: 2021年8月18日 (水)

15:00~16:30

ZoomミーティングID: 835 2248 4985

Zoomミーティングパスコード: Z7t8Bh

連絡先: 金原 数 (内線 5781)

